

式辞

うきはの野山にも色とりどりの花が咲き競う季節を迎えました。平成から令和へと元号が変わるこの節目の月、伝統ある浮羽中学校へ入学してこられた一〇七名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませす。在校生、教職員全員が皆さんの入学を心待ちにしていました。

また、公私にかとご多用の中を、うきは市議会議長櫛川まさお様をはじめ多くのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと、第46回入学式を挙行できまますことを、心から感謝申し上げます。本日入学した新入生たちが三年後には、それぞれの夢や目標に向かって大きく羽ばたいていけるよう、ご支援・ご協力のほどお願いいたします。

さて、新入生の皆さん、今日から中学生として学校生活が始まります。人間の

一生の中でも中学時代は、体も心も大きく成長する時です。この時期に様々なことにチャレンジし、失敗も含め、多くの体験を積み重ねていくことが、心の成長や感性を高めていくことにつながります。流れが速く、変化の大きい今の社会の中で、皆さんが常に夢と希望を持ち、たくましく心豊かに生きていってほしいと願っています。

そのためにも、これからの中学校生活で大切にしてほしいことを三つお話しします。一つ目は「自分を大切にすることです。自分自身を大切にすることとは、言い換えれば自分自身に厳しくあれ、ということですよ。やりたいことだけやっていても成長はありません。誘惑に負けず、学習や部活動に頑張り、自分自身を律し、鍛え、立派な大人になる準備をしてください。十年後。二十年後の自分を大切にすることのために、今の自分自身に厳しくあつて

ほしいと思います。二つ目は「友だちを大切に
にする」ということです。友だちの喜びを自
分の喜びとし、友だちの悲しみを自分の悲
しみとすることができる人になってほしいと
思います。言い換えると「相手の立場に立っ
て考え、行動できる人」になってほしいと思
います。そのためにも常に「思いやり」の心
を持ち続けてください。友だちのために、
どれだけ心と時間を使ってあげられるか、
挑戦してほしいと思います。

三つ目は「授業を大切にすること
です。一時間一時間の授業をどこまで大
切にできるか。皆さんはこれから中学校を
卒業するまでに、約三千時間を越える授
業を受けることになります。限られた授
業を、いかに集中して誠実に受けるかが重
要になってきます。毎日の授業をおろそか
にせず、たとえ微力であつても根気よく続
けることこそ、成功の元になることを忘れ

ないでほしいと思います。春は新しい出発の季節です。どんな道でも一歩は一歩。一歩が百歩、千歩になった時、気付かなかつた自分の可能性が見えてきます。夢とは、立ち止まって思い描くものではなく。歩く中で発見するものだと思います。だからこそ、まず歩き出すことが重要です。成長できるか否かは、どこまでも自分自身の決意と努力にかかっています。

今日から三年間、新たな歩みをスタートさせ、自分自身を成長させていくための継続的な努力を始めましょう。どんな小さなことでもいいです。やり続けることこそ重要です。

最後になりましたが、保護者の皆様には、このたびのご入学、心よりお祝い申し上げます。本日ここに、かけがえのないお子様を確かにお預かりいたしました。教職員一同、お子様が立派な社会人へと成長する

ために、愛情深く、誠心誠意、努力をいたす決意を新たにしております。何とぞ、保護者の皆様も、私たち教職員とともに、子どもたちの豊かな成長のために、御協力・御支援を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。それでは、新入生の3年間が夢と希望に満ち、楽しく活気ある充実の3年間になるよう、共にがんばっていくことをお誓いして、式辞とします。

平成三十一年 四月十日

うきは市立浮羽中学校 校長 高倉満